２０２１年度

# 自己評価報告書

学校法人　晃陽学園

気仙沼リアス調理専門学校

1　教育理念・目的・人材育成像

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　学校の理念・目的・育成人材像は定められているか<br>（専門分野の特性が明確になっているか） | A | 入学前のオープンキャンパス、個別相談において教育方針、授業風景などをして説明しており入学時のガイダンスやオリエンテーションにおいても再度伝えている。調理師としてふさわしい人間性、社会性、専門性が身につく指導を心掛けている。 | |
| ②　学校の理念・目的・育成人材像・特色将来構想などが学生、関係業界、保護者等に周知がなされているか | B | 校外研修先や市内飲食店などにパンフレットを配り、理解を深めてもらえる様している。 | 保護者、関係業界を含め、より広く周知に努めていく。 |
| ③　学校における職業教育その他の教育指導の特色は明確か | A | 地域の特性を活かした授業を心がけている。 | |
| ④　社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | A | 人口減少傾向にある地で学生を集め地元に就職地域の活性化に努めている。 | 保護者や高校教員等からヒヤリングを行い活かしていく。 |

## 2　学校運営

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | | 現状の認識および評価 | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　目的等に沿った運営方針が策定されているか | A | 運営方針を明確に策定している。 | |
| ②　運営方針に沿った事業計画が策定されているか | A | 事業計画を明確に策定している。 | |
| ③　運営組織や意思決定機能は明確化されているか | A | 校務分掌で明確にし体制が整っている。 | |
| ④　人事・給与に関する規定等は整備されているか | A | 就業規則により整備されている。 | |
| ⑤　教務・財務等組織整備などの意思決定システムは整備されているか | A | 決裁方法を明確にし、それに則って決定している。 | |
| ⑥　業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | B | 職員会議等で周知している。 | 文書化、研修等など整備の余地がある。 |
| ⑦　教育活動に関する情報公開が適切になされているか | B | ホームページ、SNS等で情報を公開している。 | コンプライアンスの徹底を図り、一層充実させる。 |
| ⑧　情報システム化等による業務の効率化が図られているか | B | 教務、事務の情報が共有できるシステムを導入し効率化を図っている。 | 更に効果的に活用する。 |

3　教育活動

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか | A | 教育理念に沿ったカリキュラムが策定され、教育理念に基づいた授業を行っている。 | |
| ②　教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | A | 各課程、考査課題を定め一定のレベルに達する様、学習時間を充分に確保し、飲食業界の需要を踏まえた人材育成を心がけている。 | |
| ③　学科のカリキュラムは体系的に編成されているか | A | 学科ごとに体系的に編成されている。 | |
| ④　キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの作成、見直し等がされているか。 | A | 十分に検討を重ね積極的に取り入れている。 | |
| ⑤　関連分野の企業、関係施設等や業界、団体等の連携により、カリキュラムの作成、見直し等がおこなわれているか | A | 関連分野の企業、外部講師、姉妹校講師等から頂いている意見を取り入れ反映させている。 | |
| ⑥　職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | B | 学校関係者評価委員会の実施を予定している。 | 委員の評価に基づき積極的に取り入れていく。 |
| ⑦　飲食分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | A | カリキュラムに組み込み実店舗実習を実施している。 | |
| ⑧　授業評価の実施・評価体制があるか | B | アンケートを行ったことはあるが定期的には行っていない。 | 今後体制を整える。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | A | 単位取得、進級判定の基準に沿って進級、卒業判定会議において審議している。単位未修得になり得る可能性のある学生には、本人への指導、面談及び保護者への連絡も行っている。 | |
| ⑩ 資格取得等に関する指導体制は整っているか | A | 単位の履修及び資格取得に向けた指導体制が整っている。 | |
| ⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | A | 各教科、専門分野の職員を配置している。実習及び学科を指導する職員も外部講師を含め有資格で経験豊富な講師を配置している。 | |
| ⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保に努めているか | A | 業界と連携し、専門性の高い講師を派遣してもらう体制が整っている。 | |
| ⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | A | 自己啓発を促し資格取得を推奨しており、実際に管理栄養士免許、製菓衛生師免許取得を目指している教員が複数いる。 | |

4 学生指導

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ① 基本的生活習慣の確立の為の取り組みが行われているか | A | 日頃から積極的に指導している。 | |
| ② 学生・保護者からの相談体制が整備されているか | A | 日々学生の状況を把握し、こまめに声掛けする等相談しやすい環境を整えている。問題があれば保護者にも連絡できる体制を整備している。 | |
| ③ 通学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか | A | 近隣の駐車場を確保し、自家用車での通学者に便宜を図っている。学生に求人情報を公開し、個別に就職指導をしている。 | |
| ④ 学生の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある学生等への支援など）が行われているか | A | 学生保険に加入している。又、心のケアセンターや保護者と連携した取り組みを行っている。 | |

5　学修成果

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | | 現状の認識および評価 | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　就職率の向上が図られているか | A | 仕事内容だけでなく業態、企業理念なども考えさせ、本人の意思を尊重する企業に就職出来るよう面談を繰り返し就職率の向上を図っている。 | |
| ②　退学率の低減が図られているか | A | 遅刻、欠席の学生にはその都度担任より声掛けをしている。必要に応じて個別面談、保護者に連絡を実施し退学率低減に努めている。 | |
| ③　卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | B | 卒業後に来校する卒業生が多く状況が伺える為、おおよそ把握できている。 | 就職先の企業と情報共有し評価の把握と、卒業生のサポートに一層努める。 |
| ④　卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか | A | 就職した卒業生が在校生に話をする機会を設けている。 | 卒業生を実習の講師で招くなど体制を整えていく。 |

6　学生支援

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | | 現状の認識および評価 | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　進路・就職支援に関する支援体制は整備されているか | A | 入学してから早期に面談を設定し、学生の意向を聞いている。校内で企業説明会を行う等積極的に支援している。 | |
| ②　学生相談に関する体制は整備されているか | A | 相談しやすい環境づくりに努めている。 | |
| ③　学生に対する経済的な支援は行われているか | A | 独自の奨学金制度はないが修学支援新制度の対象校である事や公的な奨学金制度について紹介している。学費納入相談は随時行っており、分割納入や納入期日の延長など柔軟に対応している。 | |
| ④　学生の生活環境への支援は行われているか | B | 入学前後に希望する学生、保護者へアパート、駐車場情報など提供している。アルバイトも学校を通じて紹介している。昼食は給食を提供し適切な食生活をサポートしている。 | 寮やスクールバスの運営も検討する。 |
| ⑤　学生の健康管理を担う組織体制があるか | A | 学校医を定め年度初めに健康診断を行っている。 | |
| ⑥　課外活動に対する支援体制は整備されているか | A | コンクールや検定試験に向けての指導を行っている。レシピコンテスト等へ参加もしており、その指導もしている。 | |
| ⑦　卒業生への支援体制があるか | A | 再就職を希望する卒業生には求人の紹介も含め相談に乗り、今後の活躍につながるよう支援する体制を整えている。 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑧　保護者と適切に連携しているか | A | 学校行事に足を運んでくれる保護者は多いと感じている。心配な学生がいれば連絡をするよう努めている。 | |
| ⑨　社会人入学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | A | 社会人入学生の卒業後の希望進路を把握し、授業内容を再検討するなど柔軟に対応している。 | |
| ⑩　高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか | A | 高校からの依頼を受け在校生や職員の派遣、高校生の職業体験実習受け入れ等相互協力している。 | |

7　教育環境

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか | A | 施設、設備は設置基準に準し、十分整備されている。 | 必要に応じて順次更新していく。 |
| ②　学校外の実習施設の場等について十分な体制を整備しているか。 | A | 十分な体制が整備されている。 | |
| ③　防災に対する体制は整備されているか | A | 防災マニュアルを作成し、防災訓練を毎年実施している。 | 教職員の意識をさらに高め、学生への周知を徹底するよう努める。 |

## 8　学生募集

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | | 現状の認識および評価 | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みがおこなわれているか | A | 各高等学校で行われる進路ガイダンスへの参加、広報職員の高校訪問を通して、学校説明や在籍している学生の状況を報告。学校の情報を正確に提供するよう努めている | |
| ②　学生募集活動は適正に行われているか | B | 正確に学校や学科の特徴、取得資格、就職状況を説明し、ミスマッチなく進路として選択してもらえるよう努めている。 | 今後、社会人や外国人受入れに対してもさらに配慮していく。 |
| ③　学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられているか | A | 誇張することなく掲載している。 | |
| ④　学生納付金は妥当なものとなっているか | A | 募集要項に記載、徴収している。<br>教材費や行事費等の実費についても、オープンキャンパス等で納入時期やおおよその金額を公表し、徴収時には明細を添付している。 | |

9　財務

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか | B | 開校間もなく、学校単独ではまだ適切でない。 | 広報活動に注力し、定員の充足に努める。 |
| ②　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | B | | |
| ③　財務について会計監査が適正に行われているか | A | | |
| ④　財務情報公開の体制準備はできているか | B | | |

１０　法令等の遵守

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか | A | 法令を遵守し運営にあたっている。 | |
| ②　個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | A | 個人情報書類については鍵のかかるキャビネットに保管している。 | パソコンの個人情報保護の環境を整備していく。 |
| ③　自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | B | 今年度より自己評価委員会を立ち上げ実施している。 | |
| ④　自己評価結果を公開しているか | D | 公開していない。 | 年度内に公開する。 |

## １１　社会貢献・地域貢献

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや適切・D:不適切・E:該当なし

| 自己評価項目 | 現状の認識および評価 | | 課題と今後の改善策 |
|---|---|---|---|
| ①　学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | A | 地域社会と連携をとりながら社会貢献、地域貢献に積極的に取り組んでいる。 | |
| ②　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | B | 海洋プラスチックごみ問題等を授業で取り上げ、海岸の清掃活動を行った。 | 今後個人単位での活動も奨励する。 |
| ③　地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）受託等を積極的に実施しているか | A | 地域住民に対する公開講座や委託授業を積極的に行っている。 | |

２０２１年度

# 学校関係者評価報告書

学校法人　晃陽学園

気仙沼リアス調理専門学校

学校法人　晃陽学園　気仙沼リアス調理専門学校は、自己評価報告書に基づき、以下の通り学校関係者評価委員会を実施致しました。

1. 開催概要

日程　　2022年2月26日（土）　15：00～17：00

場所　　気仙沼リアス調理専門学校　３Ｆ　教室

2. 学校関係者評価委員　出席者

| 氏名（所属） | 選任理由 |
|---|---|
| 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館館長　　佐藤　健一 | 企業・団体関係 |
| 株式会社あさひ鮨　代表取締役社長　　鈴木　洋之 | 企業・団体関係 |
| 在校生保護者　　小野寺　典江 | 在校生保護者 |
| 日清医療食品株式会社　　三浦　佳奈 | 第一期卒業生 |
| | |
| | |

3. 本校職員

| 氏名（役職） |
|---|
| 校長　　蛯原　祐吾 |
| 事務局長　　熊谷　秀一 |
| 調理科長　　松田　大志 |
| 広報室主任　生田目　曜多 |
| |
| |

4.　学校関係者評価委員からの意見、提言等

| 自己評価項目 | 意見、提言等 |
|---|---|
| 1　教育理念・目的・人材育成像 | オープンキャンパスによって実習のイメージ、校内風景、学費等の理解を得る事ができるが学園としての理念、校訓等を親にも説明する事やパンフレットに掲載する事により、更に理解を深めて安心して入学に繋げる事ができるのではないか。 |
| 2　学校運営 | 日頃の教育活動を積極的に公開してほしい。<br>コンプライアンスについての研修会等を開催し、一層周知した方が良いのではないか。 |
| 3　教育活動 | 地域飲食店の活性化に繋がる様、学生の外部研修等を継続してほしい。<br>学生レストラン等のイベントはもっと広く情報発信した方が良い。 |
| 4　学生指導 | 入学後からの学校生活、就職活動等のサポートには満足しているが<br>行事の告知など保護者へ向けて一括メールはできないか。 |
| 5　学修成果 | 意見、提言は特になく適正と判断する。 |
| 6　学生支援 | 入学へのサポートとして寮の設置をした方が良いのではないか。<br>給食制度もありがたいサポートである。学食と改名してはどうか。<br>市と連携して一人暮らしのサポートを更に充実できないか。 |

| | |
|---|---|
| 7　教育環境 | 緊急時の避難訓練等は継続していくとして、建物自体を避難ビルに登録申請してみてはどうか。緊急時の地域住民の避難場所、備蓄品確保など様々な形で地域貢献の為に施設を有効活用できるのではないか。 |
| 8　学生の受入れ募集 | 幅広い年代からの需要がある、1年間での国家資格最短取得学科があるという事や、地域ならではの授業内容だけではなく時代に沿った授業内容を展開しているという事を更に外部へ発信していくべきではないか。 |
| 9　財務 | 引き続きしっかりと学生募集活動に努めていくべきである。 |
| 10　法令等の遵守 | 意見、提言は特になく適正と判断する。 |
| 11　社会貢献・地域貢献 | 他分野と連携し、災害時に利用できるレトルト食品や、長期保存食を開発してほしい。 |

以上、頂いた意見をもとに、内容の改善、より一層の教育を行い、今後の学校運営に努めてまいります。